

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社イナリサーチ
 コード番号 2176 URL <http://www.ina-research.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 総務部長
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 中川賢司
 (氏名) 野竹文彦

TEL 0265-73-6647

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	1,691	△4.7	△106	—	△118	—	△82	—
26年3月期第3四半期	1,774	△16.7	△44	—	△56	—	11	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 △36百万円 (—%) 26年3月期第3四半期 △32百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	△27.62	—
26年3月期第3四半期	3.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	3,964	1,736	42.0	555.48
26年3月期	4,185	1,791	41.4	577.40

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 1,665百万円 26年3月期 1,731百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,000	8.0	83	25.0	50	0.1	28	△60.5	9.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	2,998,800 株	26年3月期	2,998,800 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	— 株	26年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	2,998,800 株	26年3月期3Q	2,998,800 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点において入手可能な情報に基づいて作成しておりますが、実際の業績等は様々な要因により予想と異なる結果となる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における大手製薬企業では、薬価改定の影響と後発品使用促進策による長期収載品の利益創出力が弱まる中、研究開発体制を再編成し委託費用の圧縮と新薬開発のスピードを加速すべく、新薬候補化合物(パイプライン)の臨床試験段階への絞り込みを継続しております。当社グループが主力とする非臨床試験市場では、こうした影響を受け厳しい経営環境が続いておりますが、新薬開発や再生医療への取り組みが大学研究機関等で活発に進められ、新たな市場を形成しつつあります。

当社グループはこのような状況の中、マイクロCTスキャンの導入、すでに実績あるマーマセット毒性試験のさらなる研究や株式会社住化分析センターとの業務提携による微量採血・超高感度定量法の確立、倉敷紡績株式会社との業務提携による遺伝子分析の実施等に取り組んで参りました。また、再生医療の研究に有用な免疫寛容型カンクイザルについては、学校法人東海大学、国立大学法人滋賀医科大学及び学校法人慶應義塾大学との共同研究に加え、新たに国立大学法人信州大学と共同で「心筋梗塞に対するiPS細胞由来心筋細胞移植療法の開発」を進めております。共同研究以外でもこのサルの有用性に注目する多くの研究機関からご要望を頂き、順次納入実績を重ねております。さらに、機械化による病理工程の時間短縮に取り組んでおります。なお、8月に実施されたGLP適合確認調査では医薬品・医療機器ともにA評価を受けており、引き続き信頼されるCROとしてご期待に応えてまいります。

上記のような取り組みを継続しておりますが、主力事業の非臨床試験については、試験の進捗管理強化によって売上高は前年実績を上回ったものの、受注競争による価格の低下に加え、委託者の開発計画変更による試験開始遅延の影響を受けて稼働率が低下したため、損益は伸び悩みました。臨床試験では、売上高・利益ともに前年実績を上回りました。複数の心電図解析試験が進行中であり、新規顧客とも受注及び試験実施に向けた協議が進み、順調に推移しております。環境は、大型工事の売上があった前年実績を、売上高・利益ともに下回りました。しかし予算執行遅延の影響を受けておりました大型案件の受注が確定し、その他複数の大型案件についても獲得に向けた取り組みを強化しております。昨今は研究所の建て替えや改修工事の需要が増加しておりますが、震災復旧やオリンピック需要を反映して建設業界は活況で、殊に大手建設業には許容量を超える要請となっていることから、当社のエンジニアリング事業に対する需要も高まっております。この需要増に対応すべく、資格保有者を増員する等の体制整備を進めております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,691,960千円(前年同四半期比4.7%減)、営業損失は106,900千円(前年同四半期は営業損失44,651千円)、経常損失は118,425千円(前年同四半期は経常損失56,652千円)、四半期純損失は82,831千円(前年同四半期は四半期純利益11,044千円)となりました。なお、前第3四半期連結累計期間において少数株主損失を計上しておりますが、これは連結子会社Inaphil, Incorporatedから優先配当を受けたことによるものです。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 非臨床試験

売上高は進捗管理の徹底により前年実績を上回りましたが、委託者からの試験開始延期のお申し出の影響等により稼働率が低下したため、損益は伸び悩みました。売上高は1,568,579千円(前年同四半期比1.9%増)、営業損失は86,036千円(前年同四半期は営業損失34,437千円)となりました。

② 臨床試験

一部の試験が売上となりましたが、同様の試験を実施中であります。売上高は49,615千円(前年同四半期比26.0%増)、営業損失は11,150千円(前年同四半期は営業損失30,836千円)となりました。

③ 環境

脱臭設備工事が売上となりましたが、大型工事の受注が遅れ前年実績を下回りました。売上高は73,764千円(前年同四半期比62.5%減)、営業損失は9,713千円(前年同四半期は営業利益20,622千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当四半期末の資産、負債及び純資産の状況

資産の部の残高は3,964,271千円となり、前連結会計年度末と比べ221,694千円減少しました。本減少は主に、売掛金の回収に伴う受取手形及び売掛金の減少と、長期借入金返済に伴う現金及び預金の減少によるものであります。

負債の部の残高は2,227,896千円となり、前連結会計年度末と比べ166,701千円減少しました。本減少は主に、短期借入金及び長期借入金の返済によるものであります。

純資産の部の残高は1,736,374千円となり、前連結会計年度末と比べ54,992千円減少しました。本減少は主に、利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきましては、現時点では計画通り進捗しており、平成26年11月11日に公表いたしました数値から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	419,920	307,978
受取手形及び売掛金	407,689	153,969
商品及び製品	1,617	3,781
仕掛品	538,342	632,314
原材料及び貯蔵品	184,093	191,449
その他	219,060	229,614
貸倒引当金	△176	△208
流動資産合計	1,770,548	1,518,899
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,533,778	3,585,336
減価償却累計額	△2,156,047	△2,252,892
建物及び構築物(純額)	1,377,731	1,332,443
土地	806,375	810,292
その他	987,405	1,052,095
減価償却累計額	△837,045	△872,824
その他(純額)	150,359	179,270
有形固定資産合計	2,334,466	2,322,007
無形固定資産	45,758	27,697
投資その他の資産		
その他	33,317	94,982
貸倒引当金	△900	△900
投資その他の資産合計	32,417	94,082
固定資産合計	2,412,642	2,443,786
繰延資産	2,774	1,585
資産合計	4,185,965	3,964,271
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	256,306	218,439
短期借入金	175,001	300,000
1年内返済予定の長期借入金	334,596	194,596
未払法人税等	26,890	2,754
前受金	500,776	571,850
賞与引当金	77,885	12,598
その他	232,633	276,172
流動負債合計	1,604,089	1,576,411

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
固定負債		
社債	60,000	30,000
長期借入金	588,275	468,578
退職給付に係る負債	4,517	5,870
その他	137,716	147,037
固定負債合計	790,509	651,485
負債合計	2,394,598	2,227,896
純資産の部		
株主資本		
資本金	684,940	684,940
資本剰余金	600,940	600,940
利益剰余金	475,515	374,690
株主資本合計	1,761,395	1,660,570
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△27,876	7,096
退職給付に係る調整累計額	△2,005	△1,889
その他の包括利益累計額合計	△29,881	5,206
少数株主持分	59,852	70,596
純資産合計	1,791,366	1,736,374
負債純資産合計	4,185,965	3,964,271

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	1,774,486	1,691,960
売上原価	1,402,382	1,389,362
売上総利益	372,103	302,597
販売費及び一般管理費	416,754	409,497
営業損失(△)	△44,651	△106,900
営業外収益		
受取賃貸料	6,399	6,613
為替差益	1,274	12,393
その他	6,735	2,955
営業外収益合計	14,410	21,961
営業外費用		
支払利息	19,598	22,041
その他	6,812	11,445
営業外費用合計	26,410	33,487
経常損失(△)	△56,652	△118,425
特別損失		
固定資産売却損	8	—
特別損失合計	8	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△56,660	△118,425
法人税、住民税及び事業税	12,474	4,251
法人税等調整額	△24,603	△39,967
法人税等合計	△12,129	△35,716
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△44,531	△82,708
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△55,575	122
四半期純利益又は四半期純損失(△)	11,044	△82,831

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△44,531	△82,708
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	12,159	45,593
退職給付に係る調整額	—	115
その他の包括利益合計	12,159	45,709
四半期包括利益	△32,371	△36,999
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	18,861	△47,743
少数株主に係る四半期包括利益	△51,232	10,744

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	非臨床試験	臨床試験	環境	合計(注)
売上高				
外部顧客への売上高	1,538,630	39,386	196,469	1,774,486
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	1,538,630	39,386	196,469	1,774,486
セグメント利益 又は損失(△)	△34,437	△30,836	20,622	△44,651

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書上の営業損失であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	非臨床試験	臨床試験	環境	合計(注)
売上高				
外部顧客への売上高	1,568,579	49,615	73,764	1,691,960
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	1,568,579	49,615	73,764	1,691,960
セグメント損失(△)	△86,036	△11,150	△9,713	△106,900

(注) セグメント損失の合計額は、四半期連結損益計算書上の営業損失であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。